

こんにちは 函館市医療・介護連携支援センター です

新年あけましておめでとうございます。

当センターを開設してから、まもなく2年が経過しようとしております。これまでの間、医療・介護関係者の皆さまに支えられ、多大なご協力を賜りましたこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、センターの取組報告も4回目を迎えた今回は、『3. 医療・介護関係者の情報共有の支援』のご報告をさせていただきます。下記は取り組みの中で作成した情報共有ツールはこだて医療・介護連携サマリーとなります。センターのホームページにて公開しておりますので、是非一度ご覧になっていただければと思います。

【情報共有ツール】“はこだて医療・介護連携サマリー”

【基本ツール】

- 本サマリーの“フェイスシート”
情報共有の基本様式

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

情報共有者 氏名 職名 連絡先

患者氏名 性別 年齢 生年月日 住所 電話番号

病歴 既往歴 手術歴 入院歴 転院歴 退院歴 死亡歴

検査結果 検査項目 検査結果 検査機関

処方薬 処方薬名 処方量 処方回数

アレルギー アレルギー名 アレルギー反応

家族情報 家族氏名 家族住所 家族電話番号

その他 備考欄

【応用ツール（例）】

- 「特別な医療」等を要する場合に
作成する18種類の様式

はこだて医療・介護連携サマリー 記載日 年 月 日

応用ツール① 褥瘡管理

1. 氏名 生年月日

2. 診療医情報 担当医

3. 自己管理能力 (該当するものに☑)

4. 褥瘡① 位置

5. 褥瘡② 位置

6. その他 (褥瘡の状況変更時の対応方法)

作成者 所属 記入者 所属 氏名

続きは当センターのホームページで！！
本年も何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう
宜しくお願いいたします。



こんにちは

函館市医療・介護連携支援センター

です

秋風が心地よい季節になりました。

当センターは平成29年4月1日に開設し、2年目を迎えることができました。皆様には、日頃からセンターの取組みにご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。センターの取組報告の3回目となります今回は、『医療・介護関係者の研修』についてご紹介させていただきます。

【多職種連携研修に関する基本方針】

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れている地域で安心して自分らしく生活していくためには、その高齢者を支える医療・介護関係者の役割は非常に重要です。適切な支援を行うため関係者には常にそれぞれの専門職としての資質の向上が求められているほか、今日では、自らの職責を果たすだけでなく、多様な専門職との緊密な連携を図ることが重要となっています。この多職種間の連携を推進するため函館市医療・介護連携推進協議会では、4つの研修目的を掲げ、研修計画を策定していくための基本方針を作りました。

(1) 相互理解の促進～顔の見える関係性の進化とお互いの専門性や役割の理解

医療関係者に対しては介護関係者が、介護関係者に対しては、医療関係者が講師となりお互いの制度や事情について知るための研修会を企画しております。今年度は、それぞれ3回ずつ同講師、同テーマにて実施しております。また、急性期病院を会場に病院医療と在宅医療・介護の経過の中で多職種が関わった症例について、当事者となった医療・介護関係者が振り返りを行うオープン形式のデスクカンファレンスも随時開催協力しております。



(2) 連携強化～関係者間の共通の仕組みやルールへの理解の促進と実践の強化

入退院支援の連携強化を目的に「はこだて入退院支援連携ガイド」を活用した研修会を企画したり、急変時対応の好取組事例報告会等を実施しております。また、年に一度開催している大規模研修会ですが、今年度は看取りを題材に開催いたします。

平成30年10月20日(土)国際ホテルにて『地域での看取りを知る～その現状とこれから～』をテーマに施設看取り、在宅看取り、病院看取りの現状と課題についてのシンポジウムとグループワークを行う予定です。

(3) 専門性の向上の取り組みへの支援と関わり

～各種団体や各機関・事業所、個人で実施している研修への支援と関わり

センターのホームページに、各種団体等から収集した研修開催情報を一元化して掲載し、情報提供しております。また、在宅医療・在宅介護への理解の促進のための出前講座なども行います。

(4) 人材育成～多職種連携を担う人材の育成

学生等の若年層やこれから多職種連携を担う専門職を対象に研修会の企画・開催を検討しております。

※上記研修会の詳細や報告につきましては、当センターのホームページより閲覧ができますので、是非ご確認ください。

センターホームページ
QRコード



函館市医療・介護連携支援センター 電話0138-43-3939

営業時間 平日 8:30～17:00/土曜日 8:30～12:30/日曜・祝日休み

こんにちは

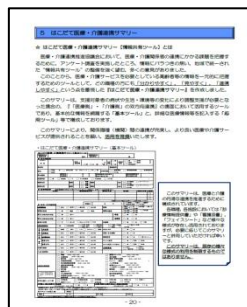
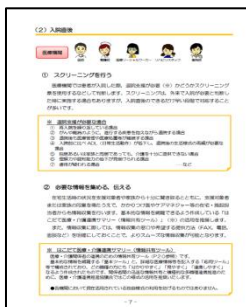
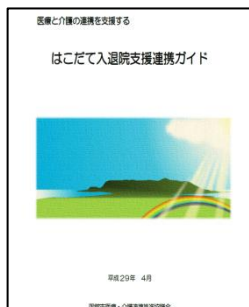
函館市医療・介護連携支援センター

です

新緑の香りがすがすがしい季節になりました。

当センターは平成29年4月1日に開設し、2年目を迎えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。2回目の今回は、『2.切れ目のない医療・介護の提供体制の構築』の取り組みについてご紹介させていただきます。

“はこだて入退院支援連携ガイド”



センターHP
QRコード



函館市医療・介護連携推進協議会では、医療・介護サービスの両方を必要とされている高齢者等について、入院から在宅への移行がスムーズに行われるよう、医療・介護関係者間の切れ目のない入退院支援の流れをまとめた『はこだて入退院支援連携ガイド』を作成し、平成29年4月より運用開始となっております。このガイドは、全市的な視点で双方の関係者の望ましい連携の形を可視化させたものであり、函館市医療・介護連携支援センターでは、その運用の標準化を目指し活用を推奨しており、定期的に利用状況のアンケート調査による検証や更新を行っています。

“急変時対応研修会の開催”（平成29年8月28日）

函館市医療・介護連携支援センターでは、函館市における高齢者の急変時対応の仕組みの周知と、介護施設等における好取組事例の報告を参考に、施設内での高齢者の急変時対応がより適切かつスムーズとなる事を目的として、急変時対応研修会を開催いたしました。市内の施設関係者及び協力医療機関の医師等248名が参加されています。アンケート調査や施設訪問による聞き取り調査の結果、「施設等における急変時対応のポイント」を作成いたしました。



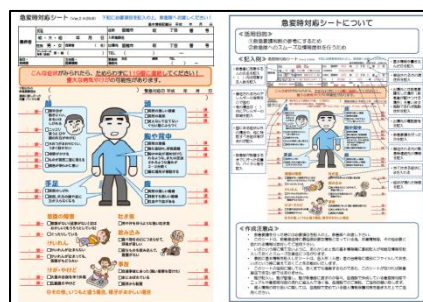
詳細については、当センターホームページの活動報告をご覧ください。

“急変時対応シート”

函館市医療・介護連携支援センターでは、函館市消防本部の協力のもと、救急搬送される際、より適切かつスムーズな搬送に繋げることを目的に、急変時対応シートを作成いたしました。

はこだて入退院支援連携ガイド、急変時対応シート

上記につきましては、当センターホームページよりダウンロード及び閲覧ができますので、是非ご活用ください。



函館市医療・介護連携支援センター 電話0138-43-3939

営業時間 平日 8:30~17:00/土曜日 8:30~12:30/日曜・祝日休み